土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一般国道　432号　測量設計地質用地調査業務委託（交通安全・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	R5-1	**調査位置**	広島県庄原市高野町新市			**北緯**	35° 01′ 52.1961″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2023年　7月　4日 ～ 2023年　7月　7日	**東経**	132° 56′ 9.0746″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 563.67m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90°東 180°南 270°西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90°	**使用機種**	**試錐機**	東邦D1
総削孔長	4.30m								**エンジン**	ヤンマーNFD13	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	563.47	0.20		砂質土		茶褐			耕作土 砂は細粒分を多く含み細砂主体。 植根を多量に含む。	
1				玉石混じり砂礫		褐灰	rd4		旧河床堆積物 礫は深度0.2～0.6m間はφ=4cmまでの角礫主体だが、深度0.6m以深は円礫と短柱状礫が主体。 礫種は雑多で花崗岩、デイサイト、凝灰岩などからなる。 礫間は主に中砂～粗砂により充填される。 全体的にコア長12cmまでの玉石を含む。	07/11 1.90
2										
3	559.87	3.80					rd3			
							rd4			
4	559.37	4.30		凝灰岩		灰			凝灰岩（CM級） 短柱状～棒状コアとして採取され、コア長は最大20cm。 コア肌滑らかで、ハンマー打撃で金属音を呈する。	
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度－N値図（0　10　20　30　40　50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
32	1.15	13	10	9	32/300		
	1.45						
29	2.15	11	8	10	29/300		
	2.45						
43	3.15	8	18	17	43/300		
	3.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.00					7/5
1.45	P-1	⊖			
2.00					
2.45	P-2	⊖			7/6
3.00					
3.45	P-3	⊖			7/7